

## 2025年8月全学環境安全管理室等会議・事故災害報告(要約)

### ・休業4日以上

**25106I** M1(女性:28歳);マウスの灌流固定作業のためホルマリン溶液(パラフォルムアルデヒド4%の生理食塩水)を使用していた。作業は安全キャビネット内で実施していたが、嗅覚低下、咽頭痛、咳嗽、ふらつき(めまい)といった症状が現れ、パラフォルムアルデヒド吸入による咽頭から気道粘膜の障害および中毒症状と診断された。

### ・休業4日未満

**25082M** 研究員等(男性:36歳);めまいで転倒し、壁に頭部をぶつけ右前額部に切り傷を負った。

**25086M** 技術職員(男性:38歳、男性:50歳、男性:57歳、女性:43歳);赤信号で停車中に後方から軽自動車に追突され、二人が頸椎を捻挫。そのうち一人が休業1日となった。

### ・不休業

**24380F** 助教(男性:34歳);連日の勤務による疲労で頸部痛を発症した。

**25079F** 助教(女性:43歳);竹林内での調査中、事前に存在を認識していた蜂の巣を刺激してしまい、右ふくらはぎ裏を刺された。

**25081F** 研究員等(女性:29歳);疲労状態のなか車で移動中、側道の落下物に乗り上げ車が横転。山崖に衝突して車体がほぼ全損。運転者も頸椎を捻挫した。

**25083F** 助教(女性:32歳);大きく重い(約32kg)机を一人で台車に載せた際、バランスが崩れて台車の端が持ち上がり、近くにいた被災者の脛に直撃した。

**25087F** 特任研究員(女性:30歳);考え事をしながら階段を上っていたところ、一段踏み外して転倒し右膝を強打した。片手にマグカップを持っていたため手をつくことができなかった。

**25089F** 事務職員(女性:47歳);業務中に朦朧状態、冷や汗などの体調不良を感じた後、嘔吐した。急性胃腸炎と診断された。

**25092F** B3(女性:22歳);馬の蹄の手入れの実習中、臀部を噛まれた。馬の保定をしっかりと行うべきであった。

**25095F** M1(男性:25歳);両手に重いゴミ袋を持ってスロープから横に降りようとして足を捻り、足首の捻挫とともに靭帯複合損傷を負った。

**25096F** 特任専門職員(女性:63歳);プラグを机下のコンセントに挿そうとしゃがみこんだ際、ステンレス製の机に額を強打した。眼球打撲傷、左眼虹彩炎と診断された。

**25098F** 教授(男性:49歳);構内道路の凹みに足を取られて足首をひねって転倒し、捻挫した。暗くて凹みに気づかなかった。

**25099F** 助教(女性:34歳);構内の坂を下っていたところバランスを崩して右足を捻り、左膝を強打し挫創を負った。

**25101F** 特任助教(女性:50歳);定規を使ってカッターでシートの切断作業をしていたところ、指が定規から外れ切創を負った。休憩を取らずに長時間同じ内容の作業をして集中力が失われていた。

**25103F** 中学1年生(男性:13歳);体育の授業で50m走をしていたところ、脚がもつれて肩から転倒し鎖骨を骨折した。

**25104F** 学部研究生3年(インターンシッププログラム)(男性:24歳);顕微鏡試料のプレパラートを作成する際に、カバーガラスで左手人差し指に切創を負った

**25111F** 技術補佐員(女性:27歳);マウスに麻酔を打つために左手でマウスの首元を押さえた際、マウスが振り返って左示指第2関節を咬まれた。

## ・通勤災害

- 24381J** 学術専門職員(女性:47歳);歩行中に歩道と車道の小さい段差に気づかず体勢を崩した際、踏み出した左足首をひねって捻挫した。
- 25072J** 看護師(女性:48歳);帰宅途上の駅の階段で列車が入線してきたのが見えたため急いで下ったところ、段を踏み外して転倒し左肘を骨折した。
- 25088J** 病院診療医(女性:30歳);下りエスカレーターに乗り歩き出そうと踏み出したところで転倒。4段ほど滑り落ち、尾骨を骨折した。

## ・ヒヤリハット

- 25090H** 特任教授(男性:54歳);加熱還流装置を終夜運転中に、冷却水排水ホースが装置から外れ冷却水が漏出した。
- 25105H** 准教授(男性:41歳);除湿器からの排水ホースがシンク内の排水用バケツから外れていて、漏水した。
- 25107H** 助教(男性:57歳);蒸留水製造装置の電源を切り忘れ、周辺が水浸しになった。
- 25112H** B6(女性:24歳);劇物保管庫から濃硫酸を取り出す際に手を滑らせて瓶が床に落下。破損した瓶から硫酸が漏出した。着用していた保護手袋が滑りやすいものだった可能性がある。

## ・その他

- 25091S** B3(男性:20歳);講義室での授業中に体調不良により顔面蒼白、手足も冷たくなり、白目の状態で一時的に呼吸の確認もできなくなったが、胸骨圧迫により容体が改善した。救急搬送され、新型コロナウイルス陽性と診断された。
- 25094S** 委託業者(男性:46歳);構内道路で運搬作業中、蜂が潜んでいた樹木と接触してしまったため下唇を刺された。
- 25097S** M2(男性:25歳);研究発表中、眩暈と頭痛で立ち上がれなくなり救急搬送された。睡眠不足で疲労と空腹状態だった。

## ・人的被害なし、設備災害のみ

- 25080Ns** コンセントのトラッキングにより焼け焦げが発生した。発見から1か月半ほど経った後で消防に通報したが、該当コンセントはすでに修繕済であったため現場確認などはなかった。
- 25100Ns** 技術職員(男性:48歳);圃場での畝立て作業中、大型トラクターをUターンさせようと後退した際に後方土手に接触し、車両の一部が破損した。後方確認が不足していた。

## ・人的被害なし、設備災害でない小火あり

- 25084Nf** 助教(男性:40歳);エタノールに浸した棒を卓上バーナーで炙って滅菌する作業をしていたところ、火の付いたエタノールの雫が棒から垂れ、エタノール密封瓶に落ち引火した。
- 25085Nf** 教室のプロジェクターより破裂音と発煙が生じたため、消防署に通報。現場確認が行われたが、ランプユニット内の電球が破損したことが原因とのことで火災認定なし。

## ・人的被害なし、設備災害でない機器・施設損傷あり

- 25093Nd** D2(男性:25歳);クリーンベンチのガラス扉を押し下げたところ、ガラスが割れ飛散した。クリーンベンチ内から外部に出していたホースを押しつぶして扉を閉めるため、3Kg ほどのおもりを用いて扉に加重していたことが原因と思われる。

- 25102Nd** 雇用外研究員等(男性:54歳);「東京ガス遮断弁起動操作器」にて断線の警報が発報。ガス遮断弁が閉止して断ガスが生じた。原因は通信が一時不通になったためと推測されるが、それとは別に複数あるガス遮断弁のうちの一つが作動しない状態であることが確認された。
- 25108Nd** B2(男性:20歳)、M2(男性:23歳);既製品のセルを繋げて自作したバッテリーに充電をしようと電源装置を接続したところ、破裂音と白煙が発生した。正負極を逆に接続していた。
- 25110Nd** 枯損木が根本から倒れ、付近に駐車していた車両にへこみがあった。

以上 教養学部等環境安全管理室